

2017年度 公益社団法人 鎌倉青年会議所 拡大渉外委員会

- 担当副理事長名：日向 智則
- 委員長名：中根 重義
- 副委員長名：米澤 寿人
- 委員名：黒木 伸太郎、潮見 雅利、長野 トーマスマコト、根本 紗央里、メタ バラッツ
- 作成者名：中根 重義

1. 委員会活動方針

「明るい豊かな社会の実現」に向け、鎌倉青年会議所が運動の推進力を高めることは、まちへの発信力を力強いものにします。人と人との繋がりが希薄化する中で、我々が仲間との絆を強め、青年会議所活動を通じてまちとの関わり深めていくことは、繋がりから生まれる明るい未来を感じることに繋がります。英知と勇気と情熱をもったメンバーがまちから信頼され、力強い運動を展開していくためには、先輩方が築いた我々がもつネットワークを駆使し、まちとの繋がりを強くしていくことと共に、運動の推進力の基盤たるメンバーの拡大が必要です。

本年の拡大渉外委員会は、年間を通して鎌倉青年会議所がまちと関われる、できる限りの機会を拡大のチャンスとし、当委員会がその推進役として活動してまいります。まず、関係する皆様を巻き込みながら、誰もがJCのネットワークの強靱さを感じ、地域の皆様に青年会議所活動の魅力を力強く発信し、我々の活動に一層賛同してもらえるよう事業を行います。続いて3LOM合同例会においては、日頃LOM内で完結してしまう発想を、3LOMで共に行う事業を通して広げ、他の青年会議所のメンバーと交流する事業を行い、鎌倉にとどまらない仲間と絆を感じ、共に学びます。そして、メンバー全員が「会員拡大」への必要性を認識し、本気でまちや市民との関わりを強めていた紡ぎが、積極的な拡大活動へとつながり、連綿と受け継げる拡大が展開できるような基盤へとつながる事業を設営します。

すべての事業を完遂することで、これまで紡いできたまちとの絆をさらに発展しまちから信頼され、力強い運動になります。そして、その運動に賛同する人の輪が、信頼する仲間との絆をより強くし、メンバー拡大へとつながる推進力となります。あらゆる機会を活かした運動の推進こそが、「明るい豊かな社会の実現」を担う青年会議所活動の輪の拡大することに結びつき、鎌倉青年会議所の拡大基盤を築き上げることに繋がると確信いたします。

2. 委員会事業計画

(I) 絆が織りなす拡大大作戦

- (a) 内容：会員拡大並びに渉外活動
- (b) 時期：2017年 1月～12月
- (c) 対象：会員を対象に40名程度、入会対象者並びに関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅱ) 会員拡大活動のためのアピール大作戦

- (a) 内 容：勉強会の開催
- (b) 時 期：2017年 2月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度、入会対象者、並びに市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅲ) 3LOMで発想を大きくの開催

- (a) 内 容：3LOM合同例会の開催（主管：一般社団法人 藤沢青年会議所）
- (b) 時 期：2017年 6月
- (c) 対 象：一般社団法人 逗子葉山青年会議所、一般社団法人 藤沢青年会議所、
公益社団法人 鎌倉青年会議所会員を対象に40名程度並びに入会対象者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅳ) 会員拡大活動のためのOne For All、All For One

- (a) 内 容：交流会の開催
- (b) 時 期：2017年 8月、11月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会対象者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

3. 共通実施事項

- (a) 会員拡大
- (b) 渉外事業への参画、参加